



活気あふれる「市場」に、新しい風も取り込んで。

東山商店街「田又果物店」店主 田又さんご夫婦

ここ東山商店街に店を構えて、私
で3代目になります。商店街の店
主はどれも2代目、3代目に代わり
していますが、95年の震災でも
商店街自体は残った店舗が多いで
すし、生鮮を中心に力のある有名
店もあるので、地元はもちろん、遠
方からもお客さんが来てくれます。
肉屋、魚屋、八百屋、と生鮮3品が
充実しているので、感覚でいえば
「市場」のほうが近いですね。

休憩所やトイレ、駐車場というの
は大型店にはかきませんが、これ
からも「安く新鮮」をお客様に
提供したいです。将来的には、主力
の生鮮に加えて、若い客層の集客
力の核となるお店ができてくれ
たらなあど期待しています。それと
同時に、商店街の古き良き風情も大
切にしていきたいですね。これから
ますます貴重な存在になっていく
でしょうから。



兵庫区は“愛すべきファンキータウン”!

ラジオDJ・クラブDJ・タレント ターザン山下さん

神戸の台所・東山商店街で、ほとん
ど日常の買い物をしてますね。店
主はほとんど知り合いなので、お
金を持ってなくても鍋素材一式揃
うくらい(笑)。兵庫区はエリアご
とに個性が豊か。南部は働き者が
多くて立ち呑み屋や大衆食堂があ
り、中部はユニークでファンキー
なオヤジやおばちゃんがいる、北
部には歴史がある。山でカブトム
シはとれるし、海も近いし。ある意

味、子どもを育てるには最高の環
境だと思います。兵庫区は人情の
まちですから、子どもが悪いこと
してたら怒ってくれるおじさんも
いる。さらに、市場でおっちゃんお
ばちゃんと話しながら値切ってたく
ましくなる(笑)。若い世代がもっ
と兵庫区に住んでほしいと思いま
すね。こんな愛すべきまちは、ほか
になかなかないですから。



私たちの夢を語ろう。



情報共有を大切に、和田岬ブランドを作りたい。

笠松商店街振興組合 理事 小笠原由晃さん

僕が店を構えている笠松商店街
は、これから伸びる可能性を秘め
たフロンティア的なエリア。三宮か
ら地下鉄海岸線で10分と、実はす
ごくアクセスもいい。近い将来、こ
の立地を生かして若者が求める
シェアハウスなどをやりたいなあ
と思っています。この地域にちょっ
とした由縁があって店を開く若い
人も増えていますし、彼らは自分た
ちでDIYしたりと、とても独創的。

いまの若い人はそこで生まれるコ
ミュニティを大事にするので、この
エリアはすごくいいマーケットだ
と思います。情報共有しながら、地域
全体が一丸となり、和田岬という
ブランドをつくっていきたいです。



老若男女問わず、幅広い方に来てもらえるまちに。

新開地まちづくりNPO 事務局 寺尾実香さん・南川雅子さん

私たちNPOは、今年で16年目を
迎える5月の新開地音楽祭、年5
回開催している寄席のほか、商店
街の街路をガーデニングしたり、
空き店舗を活用するため区画を小
さくりノベーションして飲食店や
ショップを誘致したりもしていま
す。いま新開地にはたくさんマン
ションが建ち、若いファミリーも増
えています。まずはそういった方に
地元をもっと活用してもらっていい

まちだと思ってもらえれば、外のエ
リアからもたくさん人が来るので
はと思います。新開地は明るくて
下町情緒が詰まったまち。食べ物
も美味しくて三宮より3割安いし、
人懐こくて人情味がある。地元で
生まれ育った者としてはこのまち
の魅力をもっとアピールしてい
きたいですね。





「兵庫区大好き!」の愛着と誇りを、未来へ

みんなが主役のまち

「107,140」。この数字は兵庫区の人口(※)です。が、残念ながら人口は今後減少していくと考えられています。高齢化、空き家の増加、コミュニティの衰退など、人口減少問題は生活とすぐ隣り合わせにあります。より良いまちづくりに挑戦し続けていくためには、みんなと一緒に力を合わせる事が大切。

兵庫区に暮らすことの誇りと愛着を未来へつなげていきましょう。 ※平成28年1月1日現在

ひと
(つなぐ、つたえる)



2. みんなが支え合い、イキイキと暮らすために

<多様な担い手の発掘・育成>

兵庫区では人情味豊かな地域特性を活かし、地域が主体となったさまざまな支えあいの活動が行われていますが、一方で、活動の担い手の固定化・高齢化が問題となっています。そこで、新たな担い手の発掘と育成をめざし、区民の方々が気軽に活動を始められるような仕組みづくりや、ボランティアとそれを求める人々を結びつけられるような取り組みをすすめます。

取組アイデア

- *ボランティア入門講座・地域活動体験セミナー・担い手育成セミナー・ボランティア交流会の開催による活動へのモチベーションの高揚や支え合いの関係づくり
- *青年リーダーの育成
- *手話ボランティアの養成(手話入門講座の開催)
- *各地域活動団体の次世代の人材育成
- *様々な機会での世代間交流の推進
- *知縁ネットワークのための情報共有プラットフォームづくり など

「知縁ネットワーク」
既存の地域活動組織にとらわれることなく、テーマや興味などにあわせて人と人がつながり、それぞれの情報交換やスキルアップなどにつながるネットワークのこと。

3. 兵庫の歴史や伝統行事を幅広く発信

<まちの成り立ち・歴史の伝承>

兵庫区には、さまざまな史跡や伝統行事が多く残っていますが、それらは必ずしも広く一般に知られているわけではありません。地域に根ざした伝統行事や地域ゆかりの歴史を保存・継承するとともに、それら兵庫区の個性的な資源や魅力について情報発信する取り組みをすすめます。

取組アイデア

- *地域資源の連携促進
- *まちの「魅力」の発信
- *伝統行事(祭り)等の次世代への継承 など



1. 震災を乗り越えた経験と知恵を次世代へ



<豊富な知恵・経験の継承>

阪神・淡路大震災では、建物の下敷きとなった人の多くが、家族や近隣の住民によって救出されました。それを教訓に、日頃から地域の防災力を高めておくことの必要性が唱えられています。これまで実践してきたこと、そして蓄積してきた経験や成果を、次世代へつなげる取り組みをすすめます。

取組アイデア

- *阪神大水害、阪神大震災の経験とその時の知恵を次世代に活かす取り組みの実施
- *防災ジュニアチームの結成と活動の充実(防災福祉コミュニティと連携した防災学習の実施)
- *救急インストラクター等の協力による市民救命士のさらなる養成
- *いざという時に頼りになる若い世代を訓練に参加させるしくみづくり など



必要な時に必要な情報を、多くの人に

情報がリアルタイムにつたわるまち



HYOGO NEXT 5 YEARS
わがまち・兵庫の姿と重点テーマ

地域のさまざまな課題を解決していくためには、区民のみならずと行政、企業が一体となるコミュニケーションの場や連携が欠かせません。ただ、残念ながら現在は、緊急時やあらゆる課題解決時に必要な情報の共有が十分にできているとは言えません。

今後は、近年めざましい普及を遂げているスマートフォンなど携帯型端末によるインターネットを駆使するののひとつ。必要な時に必要な情報が「わかりやすく、正確に、すばやく」行き渡る取り組みが必要になります。

1. インターネットや携帯端末で、効率的な発信サービスを

<兵庫県内外への効果的な情報発信>

兵庫区の魅力や日常生活に必要な身近なサービスをわかりやすく、正確に、すばやく提供する取り組みをすすめます。

取組アイデア

- *兵庫区ホームページの量・質ともの充実とそれを活用した広報のさらなる充実
- *知りたい情報をワンストップで知ることができるしくみづくり(ワンストップ情報ステーション)
- *携帯電話等の個人情報端末を利用した各種情報の発信 など

ひと
(つなぐ、つたえる)



MY NEXT 5 YEARS

みんなが集い、夢を紡いでいくことのできる新庁舎へ。

兵庫区民まちづくり会議 座長 櫻井良和さん

長年、兵庫のまちづくりに関わってきて一番の夢だったのが庁舎(区役所)の建て替え。行政施設がただ建て替わるのではなく、新しい“兵庫区のシンボル”ができるんですから。まずは役所が変わること。そうすれば区民も変わる、兵庫区も変わる。新庁舎には約400人収容のホールもできる予定です。高齢者に優しいバリアフリー設計。遊びに行きたくなるような、帰りには市場・商店

街に寄って帰ろうとワクワクするような場所であってほしい。「昭和の香り」を大切にしつつ、まちづくりができるのは兵庫区しかないですから。今後は“オール兵庫”として、行政も民間もみんなで協力して進めていく時代になります。数年後に完成する兵庫区の新庁舎は、そうした夢を与えてほしいし、区民が夢を語る中心的な役割を担う存在であってほしいと願っています。



ひょうごのあゆみ

- | | | |
|--|---|---|
| 1173年 平清盛が大輪田泊修築(経ヶ島建設) | 12年 清盛塚、琵琶塚移転 | 53年 聚楽館閉館 |
| 1180年 福原京遷都(半年後京都へうつす) | 13年 神戸タワー開業 | 61年 区の花をパンジーに決定 |
| 1336年 湊川合戦にて楠木正成戦死 | 14年 発声映画(トーキー)初めて聚楽館で試写 | 62年 中央卸売市場新本場完成 |
| 1397年 第1回遣明船(兵庫が対明貿易の本拠地となる) | 昭和3年 神戸有馬電気鉄道(神戸湊川～有馬温泉)営業開始 | 平成元年 水の科学博物館オープン |
| 1580年 池田恒興が兵庫城を築く | 6年 神戸市に区制施行 | 3年 能福寺「兵庫大仏」再建式典
新開地アートビレッジ構想発表 |
| 1596年 慶長の大震災 | 8年 湊西区を兵庫区と改称 | 兵庫津の道整備開始 |
| 1764年 朝鮮通信使が兵庫津来訪(岡方文書に記録される) | 12年 和田岬防波堤完成 | 5年 新川運河キャナルプロムナード供用開始
キャナルタウン兵庫起工 |
| 1799年 高田屋嘉兵衛が択捉航路を開く(兵庫が北海道物産貿易の基地となる) | 13年 阪神大水害 | 6年 地下鉄海岸線の着工 |
| 1841年 吉田新田開発 | 20年 神戸大空襲により湊東・湊の2区を廃止
生田区と兵庫区に吸収、市庁舎を中央区橋通りより松本通に移転 | 7年 阪神・淡路大震災 |
| 1864年 和田岬砲台竣工 | 22年 山田村、有野村、有馬町を兵庫区に編入 | 8年 神戸アートビレッジセンター完成 |
| 1868年 神戸港開港(歴史上の兵庫港開港)
神戸事件発生 滝善三郎正信が兵庫・永福寺にて切腹 | 26年 道場村、八多村、大沢村を兵庫区に編入 | 9年 キャナルタウン兵庫完成 |
| 明治元年 切戸町の事務所を兵庫県庁とする | 27年 山陽電鉄兵庫駅移転 | 10・11年 新湊川水害 |
| 4年 和田岬灯台竣工 | 28年 阪神上水道引水トンネル完成 | 12年 「歴史花回道構想」策定
新湊川改修事業完成 |
| 5年 区内で初めての小学校(明親小)開校 | 30年 長尾村を兵庫区に編入 | 13年 地下鉄海岸線営業開始
神戸ウイングスタジアム完成 |
| 9年 新川運河完成 | 32年 市庁舎を中央区加納町へ移転 | 14年 区の基本方針「やささと思いやりのまち 兵庫」提唱
サッカーワールドカップ開催 |
| 21年 山陽鉄道会社 兵庫～明石間運転開始 | 33年 淡河村を兵庫区に編入
中部下水処理場完成 | 15年 御崎公園再整備完成 |
| 22年 神戸市制実施 | 41年 阪神高速道路神戸1号線 京橋～柳原間開通 | 16年 区のシンボルキャラクター「ハートン」誕生 |
| 24年 能福寺大仏落成開眼 | 42年 昭和42年大水害 | 20年 新和田岬ポンプ場稼働 |
| 29年 湊川決壊により福原方面被害甚大 | 43年 神戸高速鉄道開通
メロ神戸オープン
神戸タワー解体 | 21年 中央卸売市場本場リニューアル |
| 30年 和田岬に全国初の水族館開業 | 44年 御崎公園球技場完成 | 22年 湊川公園の再整備完成 |
| 32年 兵庫運河完成 | 46年 第1回神戸まつり、兵庫はっぴいまつり開催 | 23年 浜山キャナルプロムナード完成
祇園遺跡で平安時代後期の邸宅跡を発見(下祇園町) |
| 34年 湊川付替工事完成 | 47年 兵庫区総合庁舎(現庁舎)完成 | 24年 「KOBÉ de 清盛」観光キャンペーン
兵庫区庁舎・区民ホール整備検討懇話会第1回開催 |
| 38年 鳥原貯水池完成
旧湊川の地ならし完成により新開地出現 | 48年 北区誕生(兵庫区より分区)
第1回区民大運動会開催 | 26年 史跡和田岬砲台 平成の大修理完了 |
| 43年 兵庫電気鉄道(現山陽鉄道)兵庫～須磨間開通 | 49年 第1回兵庫区区民会議開催 | 28年 「兵庫区計画(2016-2020)」策定 |
| 44年 湊川公園開園 | 52年 会下山公園開園 | |
| 大正2年 市街電車をはじめ兵庫を開通
聚楽館完成 | | |

